

各位

2026 年 6 月 8 日

ウリドキ株式会社

AI が商品カテゴリ選択をサポート、査定依頼をもっと簡単に
—120 万件超のリユース画像を学習した独自 AI 第 4 弾
「Uridoki Item Image Classifier」が、カテゴリ選択の負担を軽減—

C2B 買取プラットフォーム「ウリドキ」(<https://uridoki.net/>) を運営するウリドキ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：木暮康雄）は、リユース商品に特化した画像分類 AI モデル「Uridoki Item Image Classifier」を導入したことをお知らせいたします。



AI が商品カテゴリ選択をサポート、査定依頼をもっと簡単に

120万件超のリユース画像を学習した 独自AI 第四弾「Uridoki Item Image Classifier」が、カテゴリ選択の負担を軽減

商品画像をアップロード → AI が画像を解析しカテゴリを推定 → 最適なカテゴリを自動でご提案

本AIモデルの特徴

- 120万件超のリユース商品画像を学習**
ウリドキに蓄積されたリアルな取引画像を活用
- 42カテゴリに対応**
幅広い商品ジャンルの分類が可能
- 主要カテゴリの全体精度 87%**
導入時点の検証データにおける主要カテゴリの全体精度
- リユース領域に特化した独自AI**
さまざまな角度や状態の商品画像でも高精度に分類

本モデルは、ユーザーが査定依頼時に商品画像をアップロードすると、AI が画像の特徴を分析し、各カテゴリに属する可能性を確率分布として算出します。

このとき、特定のカテゴリの値が他のすべてのカテゴリの値よりも極端に大きい場合には、そのカテゴリを商品カテゴリと判定します。

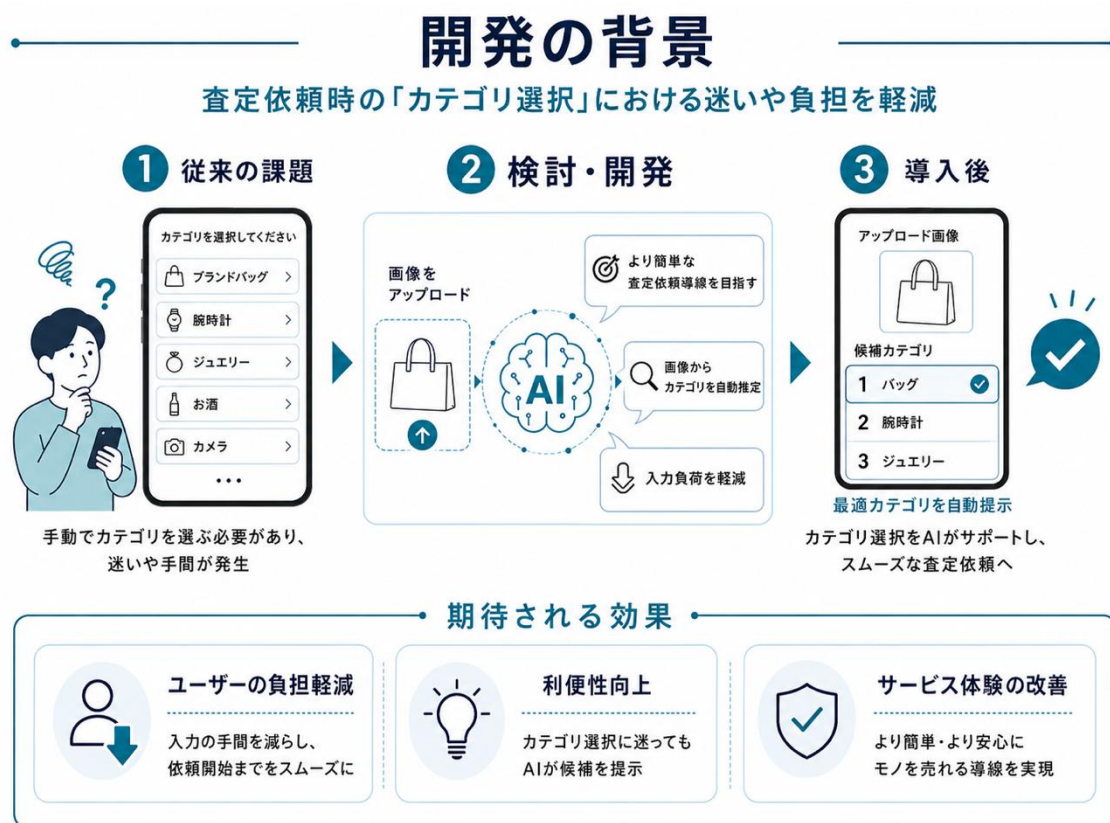
一方で偏差が小さい場合には、ユーザーに候補を提示し、適切なカテゴリを選択いただくようガイドします。

本モデルは、ブランドバッグの底面や内側を撮影した画像、高級時計をバンド部分も含めて斜め下から写した画像など、リユース業界でしばしば見られる出品画像を高い精度で分類できるよう最適化されています。

本モデルは、これまでウリドキに蓄積された 120 万件超（※1）のリアルなリユース商品画像（※2）を活用して開発され、導入時点では 42 カテゴリ（※1）の商品分類に対応しております。検証データにおける主要カテゴリの全体精度は 87%を記録しています。

さらに、査定依頼時に売り手ユーザーが登録する商品の正面画像や全体像を撮影した画像に限定した場合、分類精度は 95%を超えており、実運用において高い分類性能を確認しております。

■ 開発の背景：査定依頼時の「カテゴリ選択」における迷いや負担を軽減



ウリドキでは、ユーザーがより簡単に査定依頼を行えるサービス体験の実現を目指し、AI 技術を活用した査定依頼導線の改善に取り組んでいます。

従来、ユーザーは査定依頼時に商品のカテゴリを手動で選択する必要がありましたが、この作業に掛かる手間を軽減できないか検討を進めており、商品画像からカテゴリを自動分類する画像認識 AI モデルを開発・導入しました。これにより、査定依頼時の入力負担軽減と利便性向上を図ります。

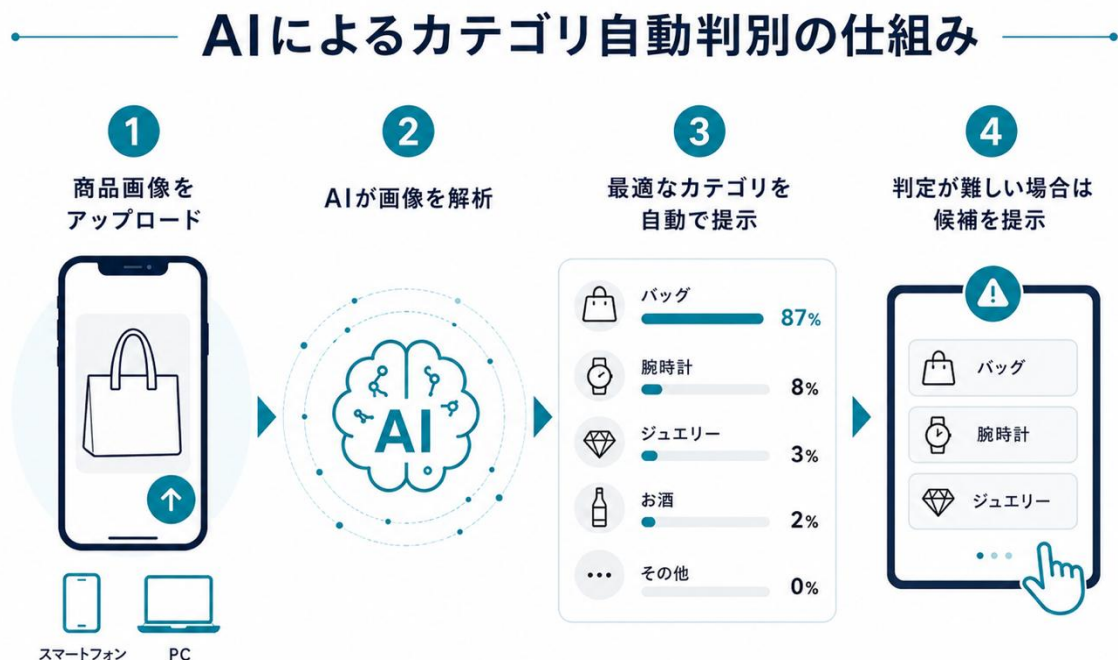
■ 本 AI モデルの特徴と優位性：リユース領域に特化した独自学習

実際の買取プラットフォームでは、商品の全体像だけでなく、一部のみを撮影した画像や、使用感・傷のある状態の商品画像が投稿されるケースが多く見られます。

本モデルは、既存の画像認識モデルを基盤としつつ、ウリドキが保有するリアルな取引画像データを活用し、独自に最適化（ファインチューニング）を行っています。一般的な画像認識モデルでは判別が難しいアングルや状態の商品画像についても、カテゴリ分類を行うことができます。

■ システムの処理フローと主な特徴

本モデルは、以下のような処理フローにて稼働いたします。



1. 商品画像のアップロード

ユーザーが査定依頼を希望する商品の画像を、スマートフォンや PC からアップロードします。

2. 画像の自動分析と高速処理

アップロードされた画像データをもとに AI が瞬時に分類を実行します。

3. 確率分布に基づく最適なカテゴリ割り当て

画像を単一のカテゴリへと一律に限定するのではなく、各カテゴリに属する可能性を確率分布として算出し、その中で最も確度の高いカテゴリを提示します。

4. 判定が難しい画像への適切な例外処理

商品画像によっては複数カテゴリに確率が分散する場合があります、必ずしも最適なカテゴリを特定できない場合があります。

その場合には、出品者に候補リストから選んでいただく、直接カテゴリを選択いただくなどの対応に速やかにフォールバック（代替処理への切り替え）します。

■ 今後のシステム展開

ウリドキでは、AI 技術を活用したサービス改善を継続的に推進しており、これまでも異常査定価格の自動検出(第 1 弾)、査定依頼画像解析(第 2 弾)、レビュー判定(第 3 弾)などの AI システムを開発・導入してまいりました。

【ウリドキの AI システム 過去の配信実績】

- 第 1 弾：AI で異常査定価格を自動検出する新システムを導入
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000090.000015081.html>
- 第 2 弾：AI による査定依頼画像解析システム「uridoki AI Image Recognition」の本格運用を開始
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000091.000015081.html>
- 第 3 弾：AI によるレビュー判定システム「Uridoki AI Review Moderator」の本格運用を開始
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000099.000015081.html>

今回の「Uridoki Item Image Classifier」は、それらに続く AI 活用施策の第 4 弾として開発・導入したものです。

今後は、サービス運用を通じて蓄積されるデータを活用しながら、継続的な学習と改善を行い、カテゴリ推定精度の向上に取り組んでまいります。

- 継続的な再学習によるカテゴリ自動判別精度の向上

日々のサービス運用を通じて蓄積される最新の画像データや判定結果を、継続的に AI モデルへとフィードバックする仕組み（再学習パイプライン）を構築・運用いたします。これにより、新商品の登場や出品トレンドの変化、リユース業界特有の多様な撮影環境にも柔軟に適応し、カテゴリ自動判別の精度向上に取り組んでまいります。

当社は、プラットフォームの運営を通じて日々蓄積されるデータを活用し、リユース領域における AI 技術の実用化と機能の高度化を推進してまいります。

これからも実際のサービス運用を通じて得られる知見を迅速に機能へと還元し、ユーザーの皆様が「より簡単、より安心」にモノを売ることができる、利便性の高い買取プラットフォームの提供を目指してまいります。

※1 学習データ数および分類カテゴリ数、分類精度は導入時点（2026 年 6 月現在）の数値であり、継続的な学習およびサービス拡張に伴い変動する場合があります。

※2 本モデルは、当社サービスの運営を通じて蓄積された商品画像データを、個人情報の保護に配慮し、適切に管理した上で活用し、開発したものです。

■ C2B 買取プラットフォーム『ウリドキ』について

『ウリドキ』はモノを売りたい人と買取店を繋ぐマッチングプラットフォームです。

マッチングサービス『ウリドキ！』とリユース記事特化 WEB メディア『ウリドキプラス』の 2 つのサービスを軸にプラットフォーム事業を展開しています。

『ウリドキ！』は商品の写真や状態を入力して買取依頼をすると、複数の査定士から見積もりが受け取れます。複数店舗に問い合わせることなく、一度の申し込みで買取価格の比較が可能です。

メッセージ機能で査定士と直接やりとりし、「高く売りたい」「早く売りたい」「口コミ評価の高い買取店に売りたい」など、目的に合った買取店へ売ることができます。

『ウリドキ』URL : <https://uridoki.net/>

買取店様向けお問い合わせ先 : https://uridoki.net/shop_entries

■ 会社概要

会社名：ウリドキ株式会社

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-6-3 新宿御苑フロント 9F

代表者：代表取締役 木暮康雄

設立：2014 年 12 月 1 日

事業内容：C2B 買取プラットフォーム『ウリドキ』の運営

URL : <https://uridoki.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

ウリドキ株式会社 IR 担当

・メール : ir@uridoki.co.jp